

国内百貨店事業 売上

店名	前年比	2020年度計
伊勢丹新宿本店 ※	81.1%	44.0%
三越日本橋本店 ※	83.9%	42.2%
三越銀座店	54.7%	21.7%
伊勢丹立川店	91.5%	41.8%
伊勢丹浦和店	92.4%	41.7%

	前年比	2020年度計
三越伊勢丹 計 (①)	75.4%	37.8%
三越伊勢丹 既存店計※ (②)	79.5%	39.8%

※2019年9月末日営業終了した伊勢丹相模原店・伊勢丹府中店の実績除く

※伊勢丹新宿本店 店頭売上前年比:78.1% 三越日本橋本店 店頭売上前年比:82.9%

※伊勢丹新宿本店売上には、法人外商事業、EC事業及び一部の小型店舗の売上を含みます。

※三越日本橋本店売上には、小型店舗及び恵比寿三越の売上を含みます。

会社名	前年比	2020年度計
札幌丸井三越	76.4%	41.1%
函館丸井今井	91.2%	58.9%
仙台三越	87.7%	58.8%
新潟三越伊勢丹	80.8%	52.3%
静岡伊勢丹	82.6%	57.2%
名古屋三越	89.3%	58.0%
広島三越	88.2%	57.8%
高松三越	85.6%	52.7%
松山三越	66.6%	45.1%
岩田屋三越	84.2%	49.7%

	前年比	2020年度計
国内グループ百貨店 計 (③)	83.4%	51.6%
国内グループ百貨店 既存店計※ (④)	86.1%	53.3%

※2020年3月22日営業終了した新潟三越の実績除く

	前年比	2020年度計
国内百貨店 計 (①+③)	78.4%	43.0%
国内百貨店 既存店計※ (②+④)	82.0%	45.0%

※2019年9月末日営業終了した伊勢丹相模原店・伊勢丹府中店の実績と

2020年3月22日営業終了した新潟三越の実績除く

百貨店事業 商品別売上

単位: % (営業日数は日)

	伊勢丹新宿本店		三越日本橋本店		三越銀座店		3店計		三越伊勢丹計		国内百貨店計	
	6月	年度計	6月	年度計	6月	年度計	6月	年度計	6月	年度計	6月	年度計
紳士服・洋品	80.4	34.9	74.5	28.0	64.1	22.9	78.3	32.8	77.4	32.7	78.5	36.2
婦人服・洋品	67.6	31.1	74.3	30.6	55.8	21.5	67.3	29.5	65.5	28.3	71.3	34.0
子供服・洋品	85.4	48.4	90.1	64.2	50.3	17.7	81.4	50.5	80.3	49.9	85.2	57.0
呉服寝具他	77.7	45.0	71.2	28.7	53.1	25.0	73.2	38.4	72.2	36.4	76.2	41.3
衣料品計	73.9	34.1	75.3	34.4	57.2	21.7	72.1	32.6	70.6	31.8	74.5	36.9
身廻り品	80.2	36.6	86.5	34.2	58.6	22.2	76.7	32.7	74.8	31.9	78.9	37.1
雑貨	80.7	47.9	74.2	32.3	38.0	15.1	68.3	35.7	68.9	35.4	72.2	39.8
家具インテリア	90.6	45.7	96.5	39.3	64.9	28.2	90.8	42.8	86.0	40.2	86.3	45.2
家電	72.1	87.9	32.4	33.6	-	-	68.4	83.1	68.4	83.0	70.4	82.7
家庭用品	63.3	36.7	77.5	36.7	75.5	29.4	71.4	35.8	68.8	33.7	73.2	39.2
家庭用品計	73.5	46.3	80.0	37.2	74.1	29.2	76.1	41.1	73.2	38.6	76.6	42.7
食料品	102.2	72.3	93.4	59.8	73.8	32.6	94.0	60.1	88.2	54.1	88.2	58.6
食堂・喫茶	50.3	19.5	43.3	18.3	45.7	19.9	48.6	19.3	46.0	18.0	48.7	21.6
サービス	94.3	48.3	29.1	14.0	65.1	25.5	71.1	36.1	70.5	33.9	74.2	38.4
その他	94.0	88.1	90.9	50.2	74.5	36.5	90.6	59.3	90.0	58.3	92.4	63.9
合計	81.1	44.0	83.9	42.2	54.7	21.7	77.6	39.5	75.4	37.8	78.4	43.0
営業日数	30	37	30	37	30	37	-	-	-	-	-	-

6月概況

- コロナ禍で不要不急の外出を控える状況が続いたことでほぼ全店で客数が減少し、国内百貨店合計の売上は前年を下回った。一方で、買い物の目的が明確なお客さまや購買意欲が高いお客さまが目立ち、多くの店舗において客単価は前年実績を上回ったため売上は5月よりも大幅に改善した。特に食品・リビング用品・子供用品など、日常生活をより豊かに過ごしたいニーズに応えるカテゴリーが健闘した。
- 東京都心の店舗では、月初は生活必需品へのニーズが中心だったが、徐々にラグジュアリーブランドや宝飾品など、高額品の比較検討が可能な百貨店ならではのニーズも上向いた。また、混雑を避ける目的で分散化して開催したクリアランスセールも月の終盤まで堅調に推移するとともに、6月9日に刷新し利便性が向上した三越伊勢丹オンラインの売上は月を通して好調であった。

7月足元概況

- コロナ禍による客数減少の影響が継続し14日までの店頭売上累計は首都圏三越伊勢丹(既存店計)74.8%、国内百貨店(既存店計)77.8%と共に前年実績を下回った。

お問い合わせ先

【三越伊勢丹ホールディングス IR担当】TEL: 080-1154-4464 / 090-8593-0515
 【三越伊勢丹ホールディングス 広報担当】TEL: 03-6730-5003